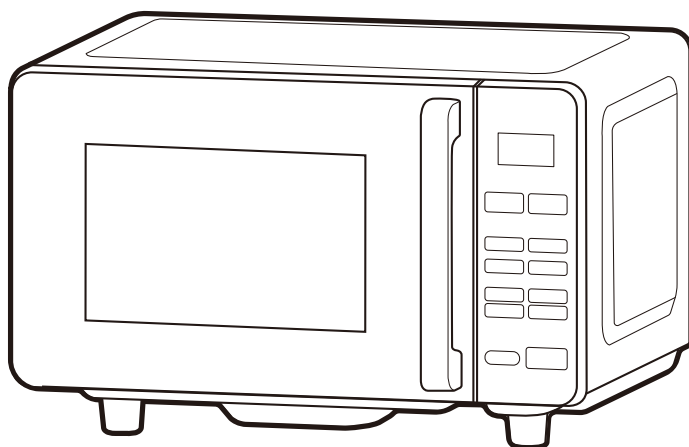


取扱説明書

単機能フラット電子レンジ18L 家庭用

型番 **ZRF-18C**



このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にご使用ください。お読みになったあとは保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ取扱説明書とともに大切に保管してください。また、本製品は家庭用として作られています。ご使用前に、必ず「安全上のご注意」をお読みください。

もくじ

安全上のご注意	1-3	機能について	18
各部の名称	4-5	加熱時間の目安・解凍のポイント	19
使用上のお願い	6-7	お手入れと保管	20
電源周波数について	8	修理・サービスを依頼いただく前に	21
加熱のしくみ	8	アフターサービス	22
使用できる容器・使用できない容器	9	仕様	22
使い方	10-16	保証書（持込修理）	
キッチンタイマーの設定の仕方	17		

- イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。海外では使用できません。FOR USE JAPAN ONLY.
- 本製品は一般家庭用です。業務用などに使用しないでください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、ご使用の方および周囲の方への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただかなければならないことを説明しています。また注意事項は、危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることにより生じると想定される内容を[危険][警告][注意]の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



危険

取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が高い内容を示します。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



このような絵表示は、必ず実行しなければならない内容です。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

※お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでもお読みいただける場所に必ず保管してください。

危険



絶対に分解や修理・改造をしない

- 発火や異常動作して感電・災害・けがにつながるおそれがあります。

分解禁止



可燃物の近くで使用しない

- カーテンや衣類、ティッシュペーパーなどの可燃物の近くで使用しないでください。火災の原因になります。



スプレー缶など、引火性のものを本体の近くに置かない

- 爆発や火災の原因になります。



乾燥など他の用途に使用しない

- 過熱して発火するおそれがあります。



本体に水や飲み物をかけない

- 内部に水分が入ると、感電や故障の原因になります。すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店まで点検をご依頼ください。



吸気口・排気口・隙間に、ピン・針金などの金属物や異物、指を入れない

- 感電・誤動作によるけが・故障につながるおそれがあります。
- 異物が入ったときはご使用を中止し、お買い上げの販売店または当社コールセンターにご相談ください。



庫内の食品から発煙・発火したときは、ドアを開けない

- ドアを開けると酸素が入り、勢いよく燃えます。
- 次の処置をしてください。
 - ①ドアを開けたまま、「とりけし」ボタンを押す。
 - ②電源プラグを抜く。
 - ③本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待つ。
 - ④鎮火しない場合は、水または消火器で消火する。処置後は、そのまま使用せず、必ず販売店または当社コールセンターに点検をご依頼ください。

警告



AC100V以外では使用しない

- 火災・感電の原因になります。



湿気の多いところや水のかかるところへの設置は避け、水をかけたり丸洗いたりしない

- 感電・ショートなどによる火災の原因になります。

水ぬれ禁止

安全上のご注意

⚠ 警告

 次のような場所、環境では使用しない ●故障の原因になります ●水がかかったり湿度が高かったりするところ ●高温のところ ●ホコリや金属片の多いところ ●油・引火性のものがあるところ	 ドアやドアの隙間が破損した場合は使用しない ●必ず修理を依頼し、修理後に使用してください。 ●電波がもれ、人体に障害を与えるおそれがあります。
 燃えやすいもの、熱に弱いものを近づけない ●焦げや火災の原因になります。しょうたん・畳・テーブルクロスの上に置いたり、カーテンなどの近くに置いたりしないでください。	 電源プラグを本体で押し付けない ●損傷・過熱・火災の原因になります。
 本体が転倒、落下した場合は、外部に損傷がなくても使用しない ●感電、電波もれのおそれがあります。販売店または当社コールセンターにご相談ください。	 電源コードは、排気口や温度の高いところに近づけない ●火災・感電の原因になります。
 本体の上に乗ったり、上に水など液体の入った容器を置いたり、上に物を置いたまま使用したりしない ●熱で焦げて変形するおそれがあります。 ●ドアの開閉で落下し、けがをするおそれがあります。 ●水がかかると、電気製品の絶縁耐圧が悪くなり、感電・漏電・火災の原因になります。	 電源コードを持って本体を引きずらない ●故障・事故の原因になります。  アース線を確実に取り付ける ●故障や漏電のときに感電を防止できます。 アース接続
 調理以外の目的で使用しない ●火災・やけどの原因になります。	 缶詰、ビン詰、袋入りのレトルト食品は、容器に移してから加熱する ●発火・破裂・けが・やけどの原因になります。 ●鮮度保持剤(脱酸素剤)を入れたまま、加熱しないでください。発火するおそれがあります。 ※レトルト食品などの容器によっては電子レンジで調理できる場合があります。食品の容器の表示に従って調理してください。
 庫内に何も入れずに加熱しない ●異常高温になり、やけど・故障・事故の原因になります。	 容器の取り出しや、食品ラップを外すときは注意する ●容器が熱くなっていたり、蒸気が一気に出たりしてやけどをするおそれがあります。
 運転したまま放置するなどせず、使用中はその場を離れない ●過熱により食品が焦げて、火災・故障の原因になります。	 乳幼児のミルクあたためは、仕上がり温度を確認する ●やけどのおそれがあります。 ●中身をかき混ぜて温度を均一にしてから、仕上がり温度をご確認ください。
 必要以上に加熱しない ●過熱により食品が焦げて、火災・故障の原因になります。	 食品などの出し入れの際は必要に応じて市販の耐熱ミトンまたはふきんなどを使用する ●やけどのおそれがあります。
 密閉された容器を入れない ●爆発・火災の原因になります。 ●密閉容器を使用する場合は容器の表示に従ってください。	 梱包用ポリ袋などは、幼児の手の届かないところに保管する ●かぶるなどすると、口や鼻をふさぎ、窒息の原因になります。
 アルミ箔・金属製食器や金銀箔などの装飾のある食器などを入れて加熱しない ●火花が出て発煙・発火の原因になります。	 定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する(延長コード・電源タップ・タコ足配線などの状態で使用しない) ●他の機器と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。
 卵や密閉容器など完全に密閉されたものは加熱しない ●破裂・爆発してけが・やけどのおそれがあります。 ●卵は殻を割り溶いてから加熱し、ゆで卵を作ったりあたため直したりしないでください。	 電源プラグは根元まで確実に差し込む ●差し込みが不完全な場合、感電・火災の原因になります。
 庫内やドアに油・食品カス・煮汁・水分などを付着させたまま放置したり加熱したりしない ●さび・発火・発煙などの原因になります。 ●付着した場合は、本体が冷めてから必ずきれいに拭き取ってください。	 異常時は運転を中止して電源プラグを抜く ●お買い上げの販売店または当社コールセンターにご相談ください。 ●異常のまま運転を続けると故障・感電・火災の原因になります。 ●ドアまたはドアガラス面に損傷がある場合は、修理技術者による修理が行われるまで使用しないでください。
 プラグを抜く お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷えたことを確認してからお手入れする ●感電・けがをするおそれがあります。	

安全上のご注意

⚠ 注意



お子様だけで使用させない

- 誤操作による危害を認識し安全に操作できないお子さまだけでは使用させないでください。必ず大人の方と一緒にご使用ください。感電・けが・やけどの原因になります。



吸気口・排気口をふさいだり、布やカバーをかけて使用したりしない

- 故障の原因になります。



ドアに無理な力や衝撃を加えたり、物をはさんだまま使用したりしない

- 本体が倒れて変形し、電波もれやけがの原因になります。
- 電波もれによる障害が起きるおそれがあります。



食品や飲み物は必要以上に加熱しない

- 食品は発煙・発火のおそれがあり、飲み物は突然沸騰してやけどにつながるおそれがあります。
- 特に少量の加熱時、油脂の多い食品、液体、芋などの根菜類、ミックスベジタブルなどの加熱にはお気をください。
- ペースト状の食品は加熱前によくかき混ぜてください。加熱後は、少し時間をおいてから取り出してください。
- 加熱中は時々庫内をご確認ください。



運転中に電源プラグをコンセントから抜かない

- 感電・ショート・故障の原因になります。



ぬれた手で、電源プラグやコンセントに触らない

- やけど・感電・けがのおそれがあります。

ぬれ手禁止



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

- 感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグや電源コードの損傷につながる次のようなことはしない

(傷付ける・加工する・熱器具に近づける・無理に曲げる・ねじる・引っ張る・束ねた状態で使用する・重いものをのせる など)

- 損傷による感電・ショートなどによる発火の原因になります。電源プラグや電源コードが損傷したときは、ただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店または当社コールセンターにご相談ください。※電源コードは束ねずにご使用ください。



使用前に、梱包材は全て取り除く

- 加熱中に発火し、火災・やけどの原因になります。



容器のフタや栓は外し、膜や殻のある物は切れ目や割れ目を入れ加熱する

- 容器や殻が破裂して、やけど・けが・故障のおそれがあります。



加熱が終わったら、その都度お手入れする

- 食材カスなどが残ったまま加熱を続けると、発火するおそれがあります。



「使用できる容器・使用できない容器」を確認する

- 容器によっては、焦げたり燃えたりして使用できないものがあります。「電子レンジ使用可」の表示があることをご確認ください。
- 食品をプラスチックまたは、紙の容器に入れて加熱しているときは、発火の可能性があるので電子レンジから目を離さないでください。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは取り除き、電源プラグの刃は乾いた布でよく拭く

- 電源プラグとコンセントの間にホコリや水分が付着し、発火(トラッキング現象)するおそれがあります。
- 火災の原因になります。



電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

- 感電・ショートして発火のおそれがあります。

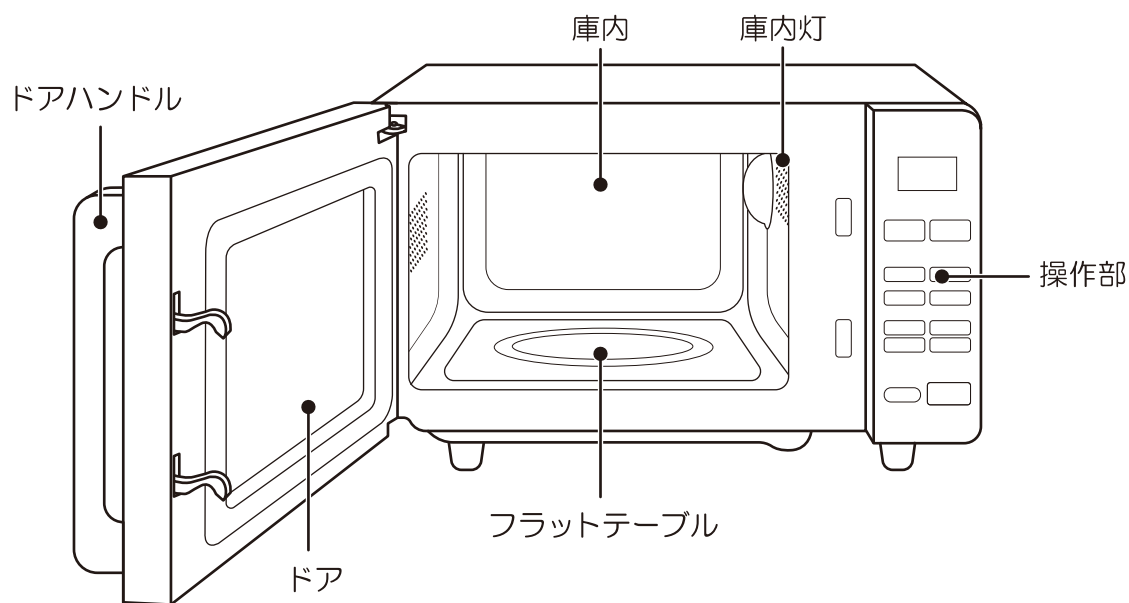


長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

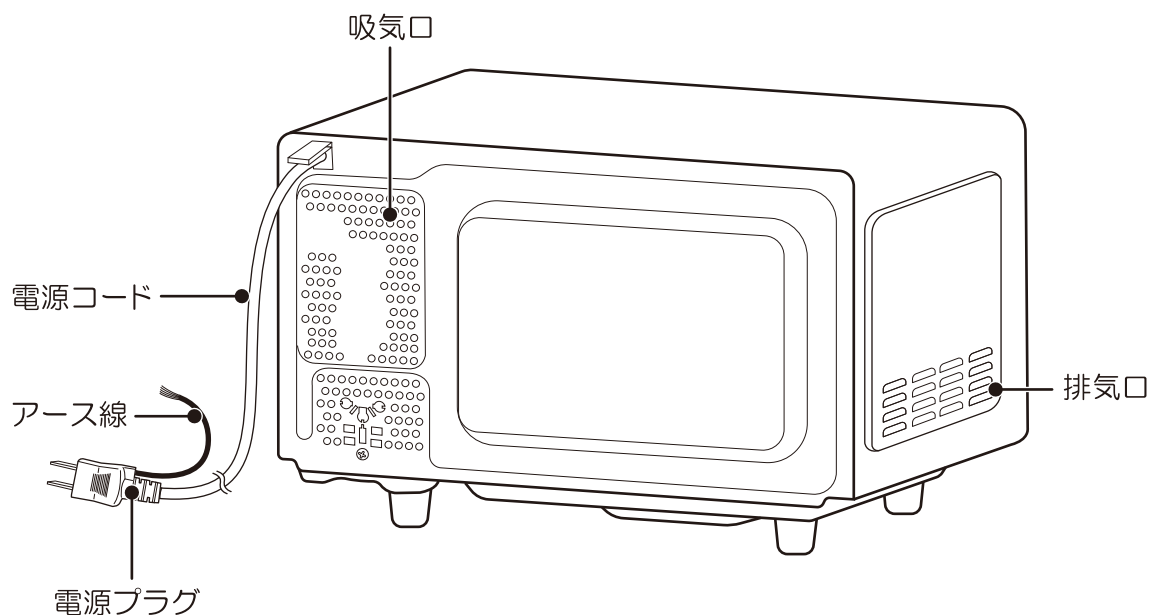
- けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

各部の名称

前 面



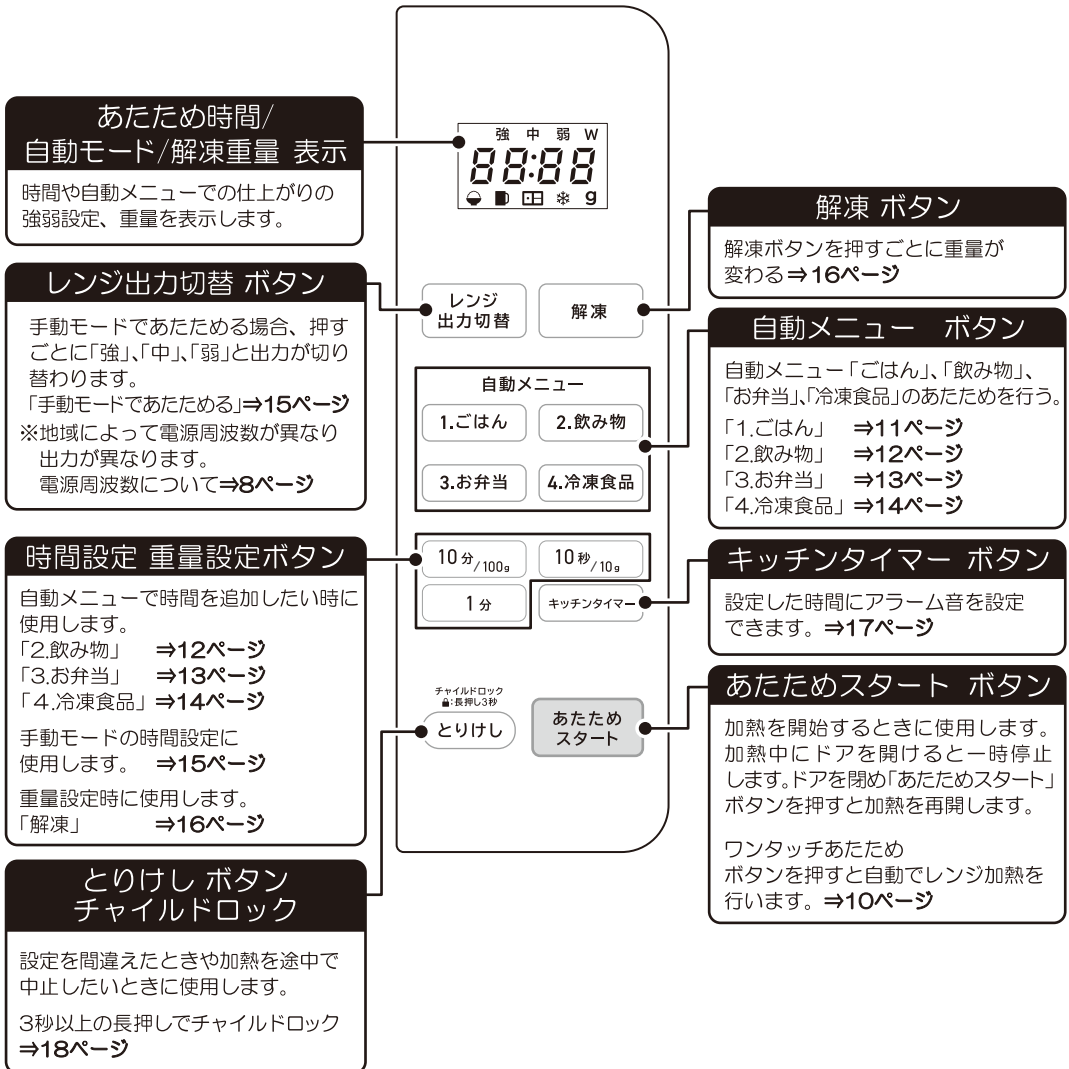
後 面



●イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

各部の名称

操作部



使用上のお願い

使用設置場所のご注意



お願い

設置の際は、下記の表以上の距離を確保する

●隙間が少ない場所で使用すると、壁などが過熱して発火するおそれがあります。

水気・湿気の少ないところで使用する

●感電・故障のおそれがあります。

風通しの良い場所に置く

●風通しが悪いと吸排気が十分行われず、正常に運転しなくなります。

耐熱性のあるものの上に置く

●焦げ・火災の原因になります。

ゴム素材や軟質の塩化ビニル素材の床や物などの上に、

長期間本体を置かない

●ゴム素材や軟質の塩化ビニル素材への色移り・付着・変質の原因になります。

壁との間をあける（下記の表以上の距離を確保する）

●排気口や吸気口をふさがないでください。

●製品の周囲に隙間が少ない場所に設置すると、壁などが過熱され発火するおそれがあります。

場所	上面	左面	右面	前面	後面	下面
離隔距離 (cm)	10	10	4.5	(開放)	10	0
		(どちらか一方を開放)				

水平でない場所・不安定な場所に置かない

●故障・事故・けがにつながるおそれがあります。

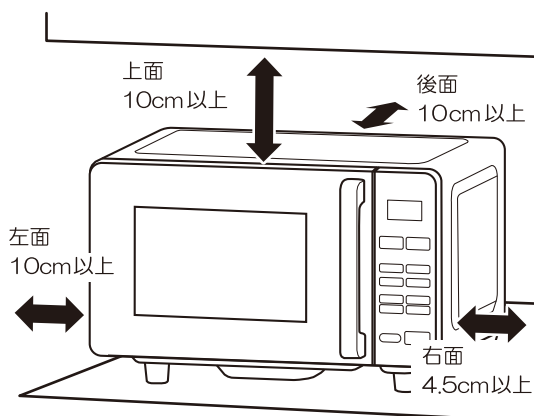
テレビ・ラジオ・無線機器の近くに置かない

●本体はテレビ・ラジオ・無線機器（無線 LAN）などから4m以上離してください。

雑音・画像の乱れ・通信エラーの原因になります。

熱に弱い壁紙・家具の近くに置かない、本体下に敷物などを敷かない

●発火・変色・焦げの原因になります。



壁の材質などによって、排気口付近の壁が汚れたり、結露したりすることがあります。

壁の汚れや結露が気になる場合は、上記の表以上の距離を確保し、壁面にアルミホイルなどを貼ることを推奨します。ただし、製品には貼らないでください。

使用上のお願い

アースを取り付ける



お願い



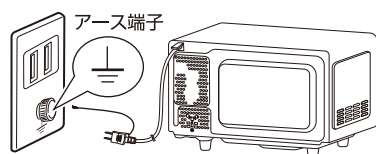
アース接続

アース線を実際に取り付ける

●故障や漏電のときに感電を防止できます。

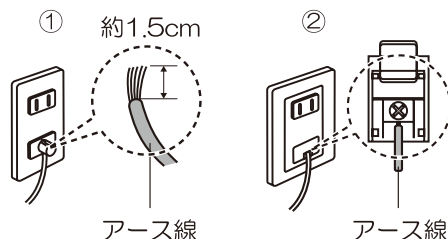
●アース端子付きコンセントを使用する場合

- ①アース線が本体のアース端子に、しっかり接続していることを確認し、アース線先端の皮を約1.5cmむきます。
- ②アース端子付きコンセントにアース線をしっかりとつなぎます。



●アース端子がない場合

お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



●アース工事（電気工事資格者によるD種接地工事）が必要な設置場所

湿気の多い場所

土間、コンクリート床、地下室、醸造、貯蔵所など。

水気のある場所（漏電遮断器も設置必要）

水を扱う場所、水滴の飛び散る場所、地下室など結露の起きやすい場所。



注意

ガス管や水道管、電話機や避雷針には絶対に接続しないでください。法令で禁止されています。

免責事項

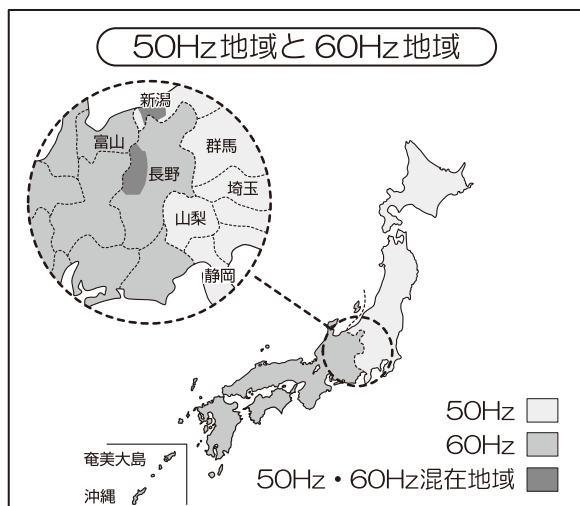
- 地震・雷・風水害などの天災地変、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証が全てであり、この保証の外は、明示の保証、黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されていません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切の責任を負いません。

電源周波数について

この製品の出力は電源周波数 50Hz または 60Hz によって変わります。

	強	中	弱
50Hz	550W	400W	200W
60Hz	650W	500W	

- 引越などで電源周波数が変わりますと、出力も変わります。
- 引越などで移転先の電源周波数が不明なときは、お近くの電力会社にご相談ください。
- 電源周波数は東日本では50Hz、西日本では60Hzです。（下図参照）



加熱のしくみ

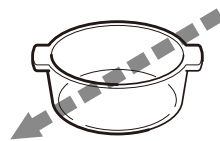
電波で食品を加熱します。

- 電波（マイクロ波）は食品中の水分子を振動させ、分子間の摩擦によって熱を生み出し、食品を加熱します。これにより、食品内部から効果的に加熱されます。

電波の特性



電波は食品に含まれる水分に吸収されます。



電波は耐熱性のあるガラス容器・陶器などを透過します。

使用できる容器・使用できない容器

●使用できない容器は発火や故障の原因になるので使用しないでください。

○ 使用できる容器

耐熱プラスチック容器 	●耐熱温度が140℃以上、または「電子レンジ加熱使用可」の表示があるものが使用できます。 ※油分の多い食品などは高温になるため使用しないでください。 ※ふたは熱に弱いものがありますのでご注意ください。
耐熱ガラス容器 	●容器本体または容器の説明書に記載されている表示をご確認ください。 ※急冷・急加熱すると破損することがあります。 ※強化ガラス・カットガラスなども耐熱表示のないものは使用しないでください。
陶器・磁器 	●電子レンジ加熱対応か確認して使用してください。 ※色絵やヒビ、金・銀の装飾のある陶器・磁器は火花が飛んだり容器を傷めたりすることがありますので使用しないでください。 ※急冷・急加熱すると破損することがあります。
耐熱性のあるラップ 	●耐熱温度が140℃以上のものが使用できます。 ●ラップをする場合は破裂のおそれがあるため、蒸気が抜ける隙間ができるよう、ゆったりと覆ってください。 ※油分の多い食品などは高温になるため使用しないでください。

× 使用できない容器

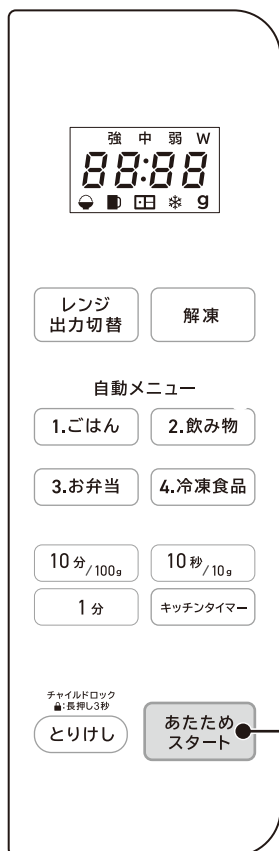
耐熱性のないガラス容器 	●耐熱表示のないガラス容器は使用しないでください。 ●強化ガラス・カットガラスなども耐熱表示がないものは使用しないでください。
耐熱性のないプラスチック容器 	●耐熱温度140℃未満のプラスチック容器は使用しないでください。 ●スチロール・ポリエチレン・メラミン・フェノール・ユリア樹脂などは使用しないでください。
漆器・木・竹・紙製品 	●漆器は塗膜が剥がれたり、ヒビ割れたりするので使用しないでください。 ●木・竹・紙製品も焦げたり燃えたりするので使用しないでください。 ※耐熱加工されているクッキングシートなどはご使用いただけます。製品表示の指示に従ってください。
金属製容器 	●ホーロー・金属カップなどは使用しないでください。 ●缶詰やレトルト容器（材料にアルミ箔などを使用した容器）は別の容器などに移して加熱してください。 ※レトルト容器などの食品によっては電子レンジで調理できる場合があります。食品の容器の表示に従って調理してください。
アルミホイル 	●火花が散るため調理ができません。 ※レトルト食品によっては調理できる場合があります。食品表示に従ってください。

※上記にない容器の使い方については、容器の製造メーカーにご相談ください。

使い方（ワンタッチあたため）

簡単な操作で食品をあたためる

●ワンタッチあたため：（550W/50Hz）（650W/60Hz）



1 食品を庫内に入れる

- 待機状態（表示部が消灯）のときは、ドアを開けると電源が入り「」が表示されます。
- 庫内底面にある丸い印の中央に食品を置いてドアを閉めてください。

2 あたためスタートを押す

設定できる時間 最大5分

- 「あたためスタート」ボタンを1回押すと30秒のタイマーが働きます。ボタンを押すごとに30秒追加され、最大5分までタイマー時間を設定できます。
（30秒⇒1分⇒1分30秒⇒・・・5分）
- あたためスタートから約3秒以内に設定してください。
加熱を開始すると操作できなくなります。
- 庫内灯が点灯し残り時間が表示され、加熱を開始します。

加熱を一時停止する

- 「とりけし」ボタンを押すと表示部の残り時間が点滅し、加熱を一時停止します。表示部点滅中（約5分以内）に「あたためスタート」ボタンを押すと残り時間の加熱を再開します。
- 表示部が点滅している間に再度「とりけし」ボタンを押すと表示部が「」に変わり加熱終了します。



できあがり（加熱終了）

- お知らせ音が鳴り庫内灯が消灯します。
※容器や庫内が熱くなっていますので注意して取り出してください。
- ※加熱終了後ドアを開けるまで「**E nd**」が点滅し、約1分ごとにお知らせ音が鳴ります。5分経過すると、自動的に待機状態「」となりさらに5分後に表示部が消灯になります。



注意

- 加熱中はドアを開けないでください。開けると一時停止します。



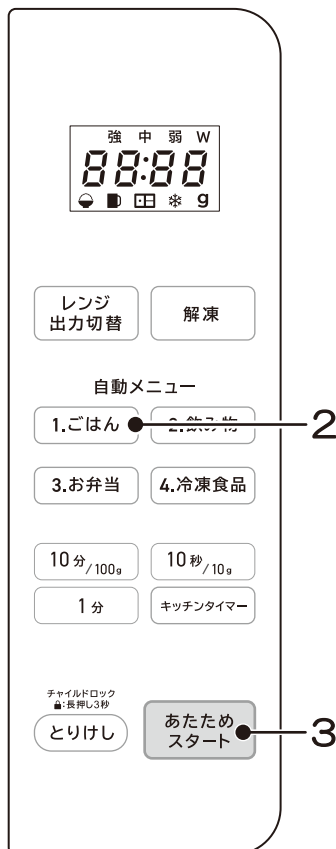
お願い

- ボタンは中央を押してください。ボタンの中央以外を押すと反応しない場合があります。

使い方（自動メニュー）

ごはんをあたためる

- 一度に加熱できる重量：約200～500g（お茶碗多め1杯が約200gです）
- ラップをしっかりとしっかりした仕上がりになり、ラップをしないと水分を飛ばし気味の仕上がりになります。お好みに合わせて調節してください。
- ラップをする場合は、破裂のおそれがあるため、ゆったりと覆ってください。

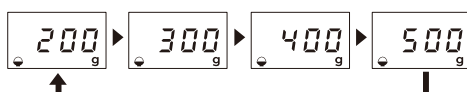


1 食品を庫内に入れる

- 待機状態（表示部が消灯）のときは、ドアを開けると電源が入り「」が表示されます。
- 庫内底面にある丸い印の中央に食品を置いてドアを閉めてください。

2 1.ごはん を押す

- 「200g」とが表示されます。
- 押すごとに重量が切り替わります。



3 あたためスタート を押す

- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、加熱を開始します。

加熱を一時停止する

- 「とりけし」ボタンを押すと表示部の残り時間が点滅し、加熱を一時停止します。表示部点滅中（約5分以内）に「あたためスタート」ボタンを押すと残り時間の加熱を再開します。
- 表示部が点滅している間に再度「とりけし」ボタンを押すと表示部が「」に変わり加熱終了します。

できあがり（加熱終了）

- お知らせ音が鳴り庫内灯が消灯します。

※ 容器や庫内が熱くなっていますので注意して取り出してください。

※ 加熱終了後ドアを開けるまで「End」が点滅し、約1分ごとにお知らせ音が鳴ります。5分経過すると、自動的に待機状態「」となりさらに5分後に表示部が消灯になります。

加熱が足りないとき

「手動モードであたためる」のページを参照し様子を見ながら加熱してください。（15ページ参照）



- 加熱中はドアを開けないでください。開けると一時停止します。

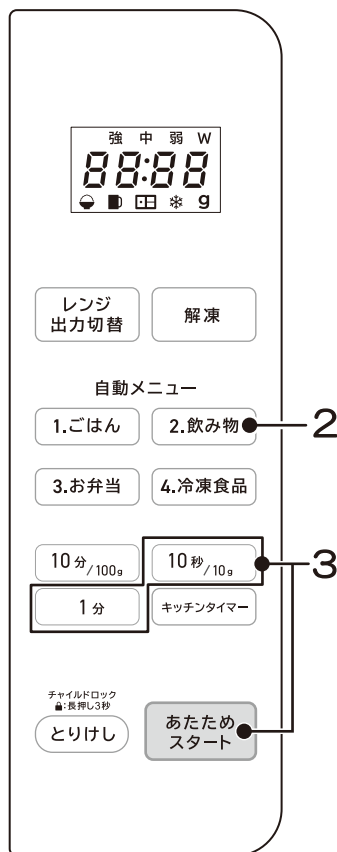


- ボタンは中央を押してください。ボタンの中央以外を押すと反応しない場合があります。

使い方（自動メニュー）

飲み物をあたためる

- 一度に加熱できる分量：1～3杯（1杯の量：180mlを基準としています。）
- 2杯以上を一度に加熱するときは分量をそろえてください。
- コップは低めの広口容器を使用し、容器の8分目まで入れてください。
- 加熱前・加熱後は、必ずスプーンなどでよくかき混ぜてください。



1 食品を庫内に入れる

- 待機状態（表示部が消灯）のときは、ドアを開けると電源が入り「」が表示されます。
- 庫内底面にある丸い印の中央に食品を置いてドアを閉めてください。

2 2.飲み物 を押す

- 「2-1」とが表示されます。
- 押すごとに  →  →  切り替わります。

「2-1」コップ1杯
「2-2」コップ2杯
「2-3」コップ3杯
お好みのコップの数を選択します。

3 あたため スタート を押す

設定できる時間 最大5分

- 「1分」、「10秒 / 10g」のボタンを押すごとに時間が追加されタイマー時間を設定できます。
- あたためスタートから約3秒以内に設定してください。
- 加熱開始すると操作できなくなります。
- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、加熱を開始します。

加熱を一時停止する

- 「とりけし」ボタンを押すと表示部の残り時間が点滅し、加熱を一時停止します。表示部点滅中（約5分以内）に「あたためスタート」ボタンを押すと残り時間の加熱を再開します。
- 表示部が点滅している間に再度「とりけし」ボタンを押すと表示部が「」に変わり加熱終了します。

できあがり（加熱終了）

- お知らせ音が鳴り庫内灯が消灯します。
- ※容器や庫内が熱くなっていますので注意して取り出してください。
- ※加熱終了後ドアを開けるまで「End」が点滅し、約1分ごとにお知らせ音が鳴ります。5分経過すると、自動的に待機状態「」となりさらに5分後に表示部が消灯になります。

加熱が足りないとき

「手動モードであたためる」のページを参照し様子を見ながら加熱してください。（15ページ参照）



- 加熱中はドアを開けないでください。開けると一時停止します。

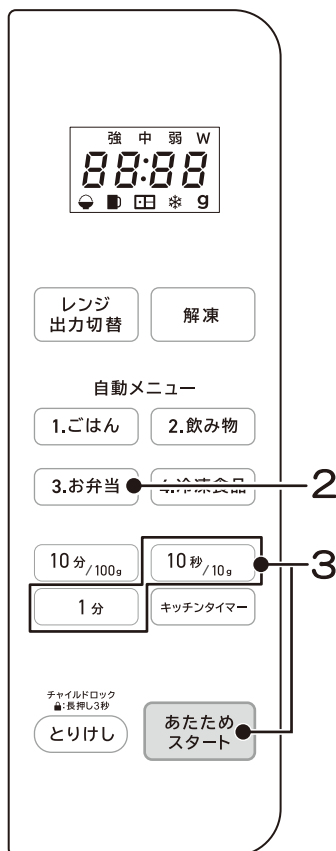


- ボタンは中央を押してください。ボタンの中央以外を押すと反応しない場合があります。

使い方（自動メニュー）

お弁当をあたためる

●一度に加熱できる分量：300g～500g



1 食品を庫内に入れる

- 待機状態（表示部が消灯）のときは、ドアを開けると電源が入り「」が表示されます。
- 庫内底面にある丸い印の中央に食品を置いてドアを閉めてください。

2 3.お弁当 を押す

- 「3-1」とが表示されます。
- 押すごとに  →  →  切り替わります。

「3-1」2分30秒

「3-2」3分

「3-3」3分30秒

好みの加熱時間を選択する。

3 あたためスタート を押す

設定できる時間 最大5分

- 「1分」、「10秒/10g」のボタンを押すごとに時間が追加されタイマー時間を設定できます。
- あたためスタートから約3秒以内に設定してください。加熱開始すると操作できなくなります。
- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、加熱を開始します。

加熱を一時停止する

- 「とりけし」ボタンを押すと表示部の残り時間が点滅し、加熱を一時停止します。表示部点滅中（約5分以内）に「あたためスタート」ボタンを押すと残り時間の加熱を再開します。
- 表示部が点滅している間に再度「とりけし」ボタンを押すと表示部が「」に変わり加熱終了します。

できあがり（加熱終了）

- お知らせ音が鳴り庫内灯が消灯します。

※容器や庫内が熱くなっていますので注意して取り出してください。

※加熱終了後ドアを開けるまで「End」が点滅し、約1分ごとにお知らせ音が鳴ります。5分経過すると、自動的に待機状態「」となりさらに5分後に表示部が消灯になります。

加熱が足りないとき

「手動モードであたためる」のページを参照し様子を見ながら加熱してください。（15ページ参照）



- 加熱中はドアを開けないでください。開けると一時停止します。

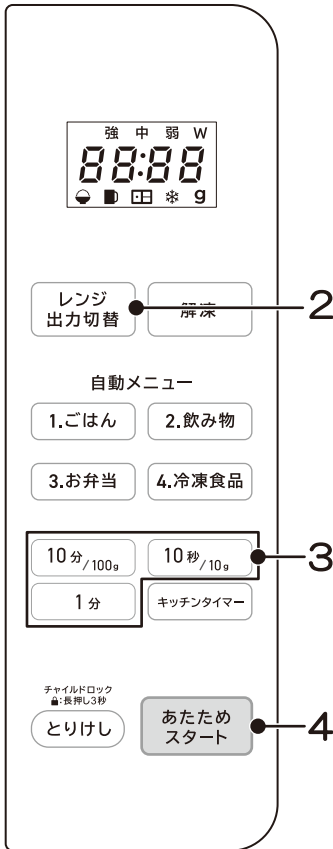


- ボタンは中央を押してください。ボタンの中央以外を押すと反応しない場合があります。

使い方（手動モード）

手動モードであたためる

●設定できる時間：10 秒～ 15 分 00 秒まで（10 秒刻み）



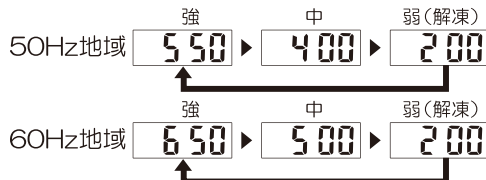
- ごはん、おかずのあたために使用します。加熱しすぎないように、様子を見ながら加熱してください。
- 市販の冷凍食品などのあたためは、包装に記載された出力・時間を目安に加熱してください。

1 食品を庫内に入れる

- 待機状態（表示部が消灯）のときは、ドアを開けると電源が入り「」が表示されます。
- 庫内底面にある丸い印の中央に食品を置いてドアを閉めてください。

2 レンジ出力切替を押して出力を選ぶ

- 押すごとに、出力が切り替わります。
- 地域によって、出力が異なります。（8 ページ参照）



3 10分/100g, 1分, 10秒/10gを押して時間を設定する

設定できる時間 最大 15 分

4 あたためスタートを押す

- 「10分/100g」、「1 分」、「10秒/10g」のボタンを押すごとに時間が追加されタイマー時間を設定できます。
- あたためスタートから約 3 秒以内に設定してください。加熱開始すると操作できなくなります。
- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、加熱を開始します。

加熱を一時停止する

- 「とりけし」ボタンを押すと表示部の残り時間が点滅し、加熱を一時停止します。表示部点滅中（約 5 分以内）に「あたためスタート」ボタンを押すと残り時間の加熱を再開します。
- 表示部が点滅している間に再度「とりけし」ボタンを押すと表示部が「」に変わり加熱終了します。

できあがり（加熱終了）

- お知らせ音が鳴り庫内灯が消灯します。

※容器や庫内が熱くなっていますので注意して取り出してください。

※ 加熱終了後ドアを開けるまで「」が点滅し、約 1 分ごとにお知らせ音が鳴ります。5 分経過すると、自動的に待機状態「」となりさらに 5 分後に表示部が消灯になります。



注意

- 加熱時間は、食品の種類や分量によって異なります。
- 加熱中はドアを開けないでください。開けると一時停止します。



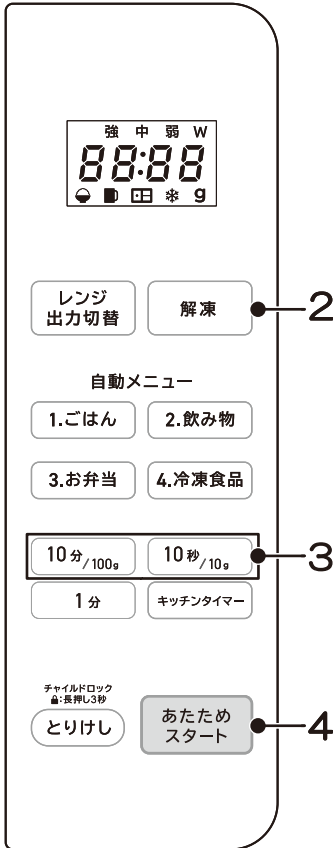
お願い

- ボタンは中央を押してください。ボタンの中央以外を押すと反応しない場合があります。

使い方（手動モード）

解凍する

●一度に解凍できる分量：100～500g（10g 刻み）



1 食品を庫内に入れる

- 待機状態（表示部が消灯）のときは、ドアを開けると電源が入り「」が表示されます。
- 庫内底面にある丸い印の中央に食品を置いてドアを閉めてください。

2 解凍 を押す

- 「」と重量値が表示されます。

3 10分/100g 10秒/10g を押して重量を設定する

- 押すごとに重量が切り替わります。
※「解凍」ボタンでも重量を設定できます（100g刻み）。

重量値	100g	200g	300g	400g	500g
加熱目安時間	2分30秒	5分00秒	7分30秒	10分00秒	12分30秒

4 あたためスタート を押す

解凍を一時停止する

- 「とりけし」ボタンを押すと表示部の残り時間が点滅し、解凍を一時停止します。表示部点滅中（約5分以内）に「あたためスタート」ボタンを押すと残り時間の解凍を再開します。
- 表示部が点滅している間に再度「とりけし」ボタンを押すと表示部が「」に変わり解凍終了します。

できあがり（解凍終了）

- お知らせ音が鳴り庫内灯が消灯します。

※ 容器や庫内が熱くなっていますので注意して取り出してください。

※ 加熱終了後ドアを開けるまで「E nd」が点滅し、約1分ごとにお知らせ音が鳴ります。5分経過すると、自動的に待機状態「」となりさらに5分後に表示部が消灯になります。

解凍が足りないとき

「手動モードであたためる」のページを参照しレンジ出力を200Wにして様子を見ながら解凍してください。（15ページ参照）



注意

- 解凍時間は、食品の種類や量によって異なります。
- 加熱中はドアを開けないでください。開けると一時停止します。



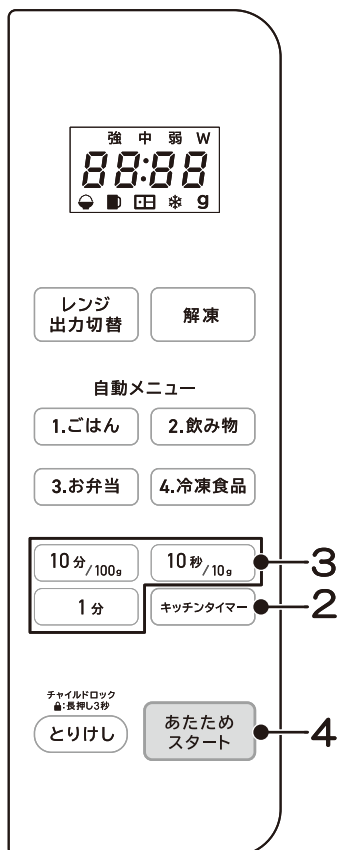
お願い

- 肉類は、平らな耐熱皿の上に食品を置いて解凍してください。
- 加熱調理を行った後に解凍をするときは、ドアを開け十分に庫内を冷ましてから解凍してください。
- ボタン中央を押してください。ボタンの中央以外を押すと反応しない場合があります。

キッチンタイマーの設定の仕方

設定時間に達するとお知らせ音が鳴る、キッチンタイマー機能が付いています。
※加熱中及び解凍中は使用できません。

●設定できる時間：10秒～99分00秒まで



1 電源を入れる

- 待機状態（表示部が消灯）のときは、ドアを開けると電源が入り「」が表示されます。

2 キッチンタイマーを押す

- 「00:00」が表示されます。

3 10分/100秒 1分 10秒/10秒を押して時間を設定する

4 あたためスタートを押す

- 表示部に残り時間が表示され、カウントを開始します。



終了

- お知らせ音が鳴ります。

5分経過すると、自動的に待機状態（表示部が消灯）になります。

※カウントの途中で「とりけし」ボタンを押すと表示部が「」に変わりカウントを終了します。



●キッチンタイマー機能を使用する場合は、消音機能設定中でもお知らせ音が鳴ります。

機能について

消音機能

●操作音やお知らせ音が鳴らないようにする機能です。

《設定の仕方》

1 ドアを開けて閉める

2 下記ボタンを同時長押しする

 +  の2つのボタンを同時に3秒間長押しする。

⇒設定完了

表示部には「FF」が表示され、1秒後に「！」が点滅表示されます。

「とりけし」ボタンを押すか1分経過すると「」が表示されます。

5分経過すると、自動的に待機状態(表示部が消灯)になります。

《解除の仕方》

●設定の仕方と同じ方法、またはコンセントから電源プラグを抜くことで解除できます。

設定の仕方と同じ方法で消音機能を解除すると、お知らせ音が鳴り、表示部には「FF」が表示され、1秒後に「！」が点滅表示されます。「とりけし」ボタンを押すと表示部が「」に変わります。

5分経過すると、自動的に待機状態(表示部が消灯)になります。



●消音機能設定中でも、キッチンタイマー機能を使用する場合はお知らせ音が鳴ります。

チャイルドロック機能

●お子さまが誤って操作しないように、ロックする機能です。

※チャイルドロックが設定されているときは、すべての操作を受け付けません。

《設定の仕方》

「とりけし」ボタンを3秒間長押しする

●「とりけし」ボタンを長押しするとお知らせ音が鳴り、表示部に5秒間「 Lock」と表示されます。

《解除の仕方》

●設定の仕方と同じ方法、またはコンセントから電源プラグを抜くことで解除できます。

自動電源オフ機能

●使用後しばらく何もしないと自動電源オフ機能がはたらき、待機状態(表示部が消灯)になります。
ドアを開閉することで電源が入ります。電源が入ると表示部に「」と表示されます。

保護装置について

●連続使用をしたり、水分の少ない食材を加熱したりすると、過熱による故障を防ぐための保護装置がはたらいて、運転出力が自動的に落ちることがあります。保護装置がはたらき、あたたまりが悪くなった場合はドアハンドルを開け15分ほどお待ちください。

加熱時間の目安・解凍のポイント

手動モードで加熱時間を設定するときの目安を表示しています。(出力500Wの場合)

加熱前の食品の温度や種類などによって適正な時間が変わります。様子を見ながら加熱してください。

※食品に加熱時間などの表示がある場合は、そちらも参考にしてください。

常温・冷蔵食品・惣菜				冷凍食品			
食品名	ラップ	分量(約)	加熱時間(約)	食品名	ラップ	分量(約)	加熱時間(約)
ごはん	—	1杯(150g)	1分30秒	ごはん	○	1杯(150g)	3分
煮物	○	150g	1分30秒	カレー・シチュー	○	200g	6分
みそ汁・スープ	○	1杯(180ml)	2分30秒	温野菜			
カレー・シチュー	○	200g	3分				
焼きそば	—	1人分(200g)	2分30秒	食品名	ラップ	分量(約)	加熱時間(約)
ハンバーグ	—	2個(180g)	1分40秒	じゃがいも	○	200g	5分
天ぷら・フライ	—	1人分(200g)	2分	にんじん	○	150g	3分30秒
焼きとり	—	4本(200g)	1分	白菜・キャベツ	○	100g	1分20秒
牛乳	—	1杯(180ml)	1分30秒	ほうれん草	○	200g	2分30秒
コーヒー	—	1杯(180ml)	1分30秒	かぼちゃ	○	200g	4～6分
お酒(熱燗)	—	1杯(180ml)	1分30秒	ブロッコリー	○	100g	1分30秒
お弁当	○	1個(400g)	2分30秒				



注意

- いもやにんじんなど、水分の少ない根菜は、長時間加熱しないでください。発火のおそれがあります。
- 冷凍野菜(ミックスベジタブルなど)は、少量での加熱はしないでください。発火・発熱のおそれがあります。
- 100g未満の食品を加熱するときは、「解凍」で様子を見ながら加熱してください。加熱しすぎると、発火・発熱のおそれがあります。
- 飲み物は、加熱しすぎると、取り出すときに突然沸騰して飛び散ったり、やけどすることがあります。そのまま20～30秒ほど置いてから取り出してください。

温野菜加熱のポイント

- ①食材の大きさをそろえ、平らな皿の中央に重ならないように置く
- ②大きじ2杯の水をまわしかけ、蒸気が抜ける隙間ができるよう、ラップでゆったりと覆う
- ③加熱の仕上がりにもうがある場合は皿を180度回して食材の場所を入れ替える
 - 様子を見ながら時間を追加して加熱してください。

解凍のポイント

- 肉、魚などを解凍するときに使用します。
 - ※解凍が足りない場合は、「解凍」で様子を見ながら加熱してください。
 - 市販の冷凍食品などのあたためには、包装に記載された出力、時間を目安に加熱してください。
- ①冷凍庫から出したばかりの凍った食品を使用する
 - 解凍前に常温で放置すると、食品から汁が出て風味を損なうおそれがあります。
 - ②ラップやふた、飾りは外して解凍する
 - 平らな耐熱皿に食品を置いて解凍してください。
 - ③魚など厚みのある食品は解凍ムラを防ぐため、途中で向きや表裏を変えながら解凍する
 - ④加熱調理を行った後は、庫内を十分に冷ましてから解凍する
 - 加熱調理を行った後に解凍をするときはドアを開け十分に庫内を冷ましてから解凍してください。

食品を冷凍するとき…

- 食品はキッチンペーパーなどで水気を拭き取り、種類ごとに大きさをそろえて、できるだけ重ならないように冷凍してください。

お手入れと保管

定期的に清掃し、庫内の汚れ（食品などのカス）を取り除いてご使用ください。
電子レンジが清潔な状態でないと、表面の損傷により機器の寿命へ悪影響を及ぼし、危険な状態になる可能性があります。また、庫内の汚れが炭化して発火するおそれがあります。



お手入れの際は、運転を停止していることを確認し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体が十分に冷めてからお手入れする

●感電・けがをするおそれがあります。

本体に水や飲み物をかけない

●感電・故障の原因になります。

●内部に水分が入ったときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店または当社コールセンターにご相談ください。

庫内やドアに油・食品カス・煮汁・水分などを付着させたま
ま放置したり加熱したりしない

●さび・発火・発煙などの原因になります。

●付着した場合は、本体が冷めてから必ずきれいに拭き取ってください。

お手入れについて

電源プラグ		電源プラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、電源プラグを抜き、乾いた布で拭き取ってからご使用ください。
本体外側		汚れがひどい場合は、ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤をふきんに含ませて拭き取っていただくと、汚れが取れやすくなります。また、台所用中性洗剤を使用した場合は、水を含ませたふきんで完全に拭き取った後、さらに乾いたふきんで拭いてください。
庫内 ・ ドア内側		固く絞ったふきんで拭いてください。食品などのカス・油汚れなどが付いた状態で使用すると、食品などのカスが燃えたり焦げたりすることがあります。長い間放置すると、通常より早く傷みます。金属たわしなどは使用しないでください。庫内底面のパッキンは強く拭いたりこすったりしないでください。 台所用中性洗剤はドア内側にのみご使用いただけます。使用後は十分に拭き取ってください。
吸気口 排気口		柔らかい乾いたふきんで軽く拭いてください。ホコリが吸気口などに入り込んでいる場合は、掃除機のノズルなどを使用してホコリを吸い取ってください。 ※月に1度は、掃除機でお手入れしてください。吸気口・排気口にホコリがたまっていると、故障の原因になったり、機能が低下したりして十分に性能を発揮できません。

※水や中性洗剤以外のシンナー、ベンジン、アルコール、クレンザー、クエン酸では拭かないでください。
（樹脂や塗装部分に変色、変質するおそれがあります）

※殺虫剤、整髪料、掃除用洗剤などのスプレーをかけないでください。破損・変質の原因になります。

※スチームクリーナーは使用しないでください。

《保管について》

●保管の前は、必ずお手入れを行ってください。

●お手入れ後、ポリ袋を被せて、湿気の少ない場所に保管してください。

修理・サービスを依頼いただく前に

故障かなと思ったときは、次のことを調べていただいた上、異常がある場合は使用を中止し故障や事故の防止のため必ず販売店または当社コールセンターへご相談ください。

こんなとき	お確かめください
電源が入らない・運転しない	●電源が正しく接続されていますか？ ●停電ではありませんか？ ●ご家庭の配電盤のブレーカーが落ちていませんか？ ●加熱中にドアを開閉しませんでしたか？ ●チャイルドロックが設定されていませんか？
加熱中に「カチカチ」または「ジー」という音がしたり、しなかったりする	●製品内部のスイッチ切替音です。故障ではありません。
加熱中または加熱終了後に「ブーン」と音がしたり、しなかったりする	●本体内部の冷却ファンが回っている音です。 ●レンジ加熱終了後、扉を開けても冷却ファンが回り続ける場合がありますが故障ではありません。
火花が出る	●金銀箔などの飾りの付いた容器を使用していないですか？ ●金属容器やアルミホイルを使用していないですか？ ●庫内の壁にアルミ箔や金属製のものが触れていませんか？
煙が出たり異臭がしたりする	●庫内やドアに、食品カスや煮汁などの液体・油が付いていませんか？
ドアがくもり水滴が落ちる	●食品から出た水分や水蒸気によるもので、故障ではありません。
何も表示していない	●ドアを閉めてしばらくすると自動的に待機状態になります。 (自動電源オフ機能) ⇒ドアを開閉し、「」表示が出てから操作してください。 ●加熱の途中で一時停止した場合も「あたためスタート」ボタンを押さずに5分以上経過すると残りの加熱時間がリセットされ「」となりさらに5分後に表示部が消灯になります。ドアを開閉し、「」表示が出てから操作してください。
ボタンを押しても何も反応がない	●表示部は「」を表示していますか？ ⇒自動電源オフ機能がはたらいている場合はドアを開閉し、「」表示が出てから操作してください。

- 絶対に分解・修理・改造をしないでください。
発火や誤作動による感電・災害・けがにつながるおそれがあります。

アフターサービス

修理・お手入れ・ご使用方法などについては、お買い上げの販売店または当社コールセンターへご相談ください。

- ①この取扱説明書には保証書が付いています。お買い上げの際に販売店より必ず保証書欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買い上げ日より1年です。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理について、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理をいたします。詳しくはお買い上げの販売店または当社コールセンターにご相談ください。
- ④本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

※修理の部品は部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

★個人情報の取り扱いについて

株式会社電響社は、お客様よりご提供いただいた個人情報について適正な管理を行い、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、お客様の同意がない限り第三者への開示または提供はいたしません。

仕 様

種類	電子レンジ
型番	ZRF-18C
庫内容量(約)	18L
定格電源	AC100V(50/60Hz)
定格消費電力	900W(50Hz) / 1100W(60Hz)
定格高周波出力	550W(50Hz) / 650W(60Hz)
発振周波数	2450MHz
加熱室有効寸法(約)	幅305×奥行320×高さ200mm
外形寸法(約)	幅450×奥行335×高さ285mm
製品質量(約)	11kg
電源コード長(約)	1.5m
区分名	A
電子レンジ機能の年間消費電力量	59.98kWh/年(50/60Hz)
年間待機時消費電力量	1.39kWh/年(50/60Hz)
年間消費電力量	59.98kWh/年(50/60Hz)

※奥行の寸法にドアハンドルは含まれていません。

- 年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」新測定法による値を表示しています。
- 区分名は省エネ法に基づき、機能、加熱方式、及び庫内容積の違いで分かれています。
- 製品の品質向上のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。

Denkyosh 株式会社 電響社

電話でのお問合せはこちら

コールセンター

☎:0120-070-440

受付時間

10:00～12:00・13:00～17:00
(土曜・日曜・祝日・当社休業日を除く)

ホームページでのお問合せはこちら

右側の二次元コードを読み込んでい
ただくか、検索フォームから
【電響社 問合せ】とご検索ください。



<https://www.denkyosha.co.jp/inquiry/>

※通信料はお客様ご負担となります。あらかじめご了承ください。